

高砂みなとまちづくり行動計画とは

高砂みなとまちづくり構想を具体化するため、市民、企業、関係団体、専門家、行政などが一体となって取り組むためのプログラムとして、高砂みなとまちづくり構想推進協議会からの提言として取りまとめられました。

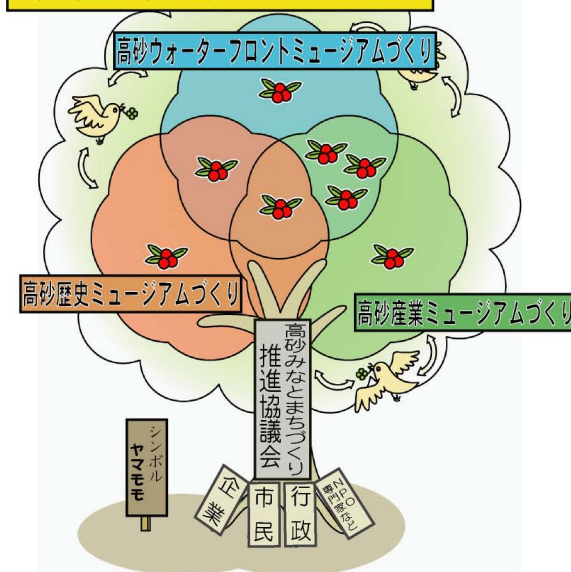
※ 高砂みなとまちづくり行動計画は、高砂みなとまちづくり構想推進協議会のホームページからダウンロード (PDF ファイル) できます。

高砂みなとまちづくり **検 索**

入力して「検索」をクリック!



～輝く高砂みなとまちミュージアム～



ヤマモモは潮風に強い常緑の高木で、生命力みなぎるその様と真っ赤な果実は高砂市の活力向上のイメージにつながるので、高砂みなとまちづくり構想のシンボルとして位置付けました。



ウォーターフロントミュージアムづくり

- あらい浜風公園で「踊っこまつり」を行いました。(H21.5.3)
- 部会の開催
 - ・20 年度の活動報告、21 年度の活動について (H21.9.14)
 - ・高砂海浜公園の視察 (H21.11.20)
- あらい浜風公園で「開園3周年フェア」を行いました。(H21.11.3)
- あらい浜風公園の「この浦舟池」で水質浄化の実験を行っています。



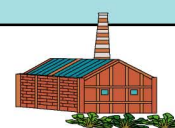
万灯祭でのライトアップ



子ども船上教室の様子



漁業体験の様子



三代目千鳥橋



産業ミュージアムづくり

- 小学生を対象にした漁業体験を実施しました。(H21.6.28)
- 小学生を対象にした子ども船上教室を実施しました。(H21.8.6)
- 部会の開催
 - ・20 年度の活動報告、21 年度の活動について (H21.9.10)
 - ・キッコーマン(株)高砂工場の工場見学 (H21.11.4)
- 千鳥橋の架け替えが完了しました。(H21.10.9)

利用しとこ!

高砂市内の史跡ガイドは「松陽学園歴史ガイドクラブ」がご案内致します。連絡先は、教育センター内
TEL: 079-448-4191 要予約 担当: 唐津哲男



歴史ミュージアムづくり

- 凧揚げ大会を行いました。(H21.5.3)
- 万灯祭において古民家を公開しました。(H21.9.26-27)
- 部会の開催
 - ・20 年度の活動報告、21 年度の活動について (H21.9.11)
 - ・サイン計画について (H21.12.3)
- 学習会の開催 (荒井、伊保、曾根)



トライやるウィークの様子



学習会の様子 (伊保)



高砂市のシンボル鰯と姥

第3号 平成22年1月

みなとまちづくり瓦版

<http://www.geocities.jp/takasago3710machikyo/index.html>

「3710」は「みなと」と読めるね!

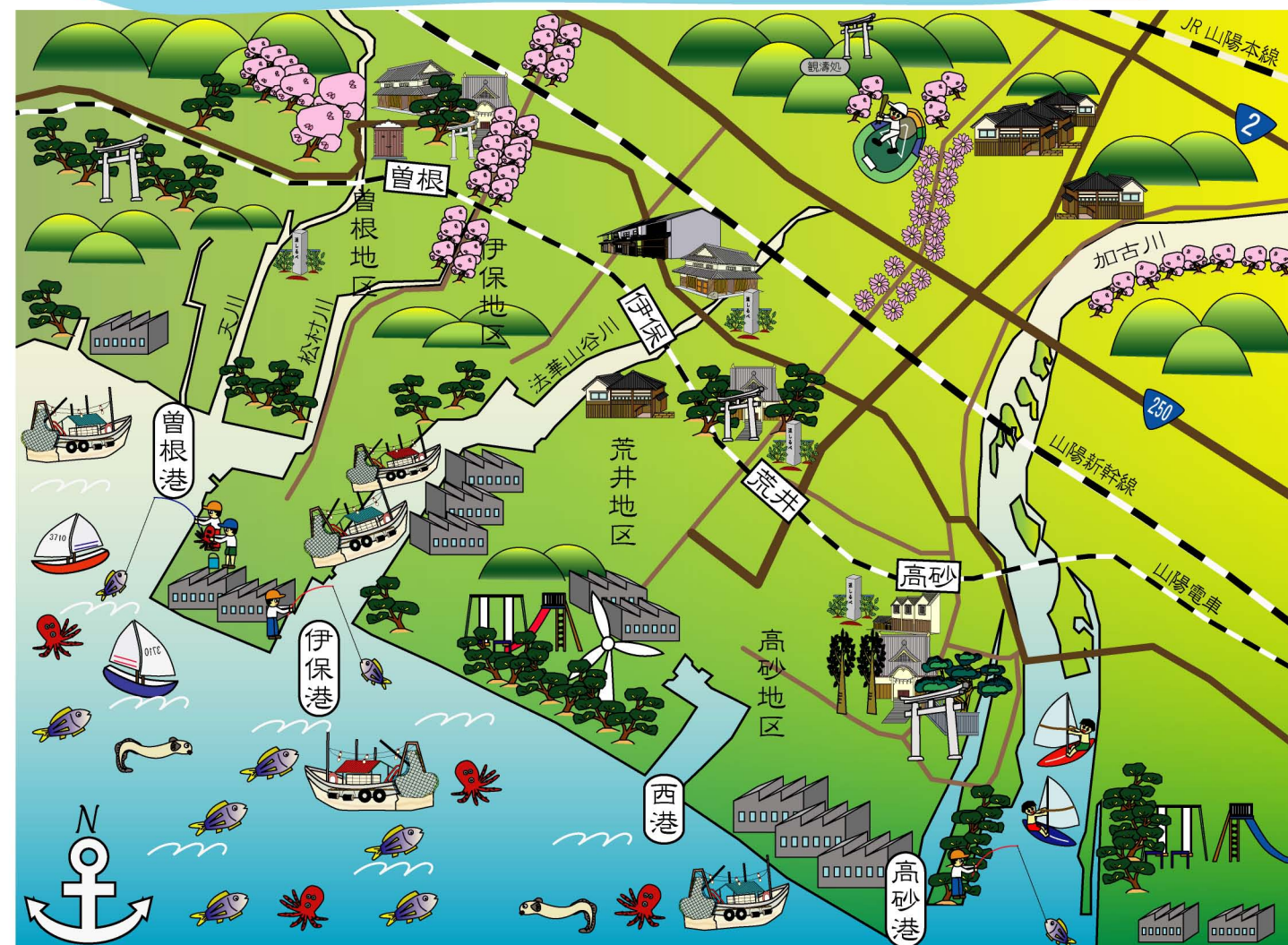
みなとまちづくり瓦版ってなあに?

高砂市の臨海部がもっと元気になるために、住民と企業と行政が一緒になって「高砂みなとまちづくり構想」をつくり、様々な取り組みを行っています。

「みなとまちづくり瓦版」は、これらの高砂みなとまちづくり構想の取り組み状況をお知らせするとともに、高砂市臨海部の魅力をもっと知ってもらいたいと「高砂みなとまちづくり構想推進協議会」の有志が集まって作成したものです。

このたび、平成20年1月に発行した創刊号、平成20年11月に発行した第2号に引き続き、第3号が完成しました。

是非ともご愛読いただき、高砂市臨海部の魅力を再発見し、一緒に「まちづくり」について考えていきましょう!



高砂行つとこ案内

キッコーマン 高砂工場見学

播磨平野、良質の水、塩、港等が決め手となり、甲子園球場6.5個分（約8万坪）のしょうゆ工場が昭和6年に産声をあげました。

以来、日本で生まれ、日本の風土で培われてきた食文化の伝統を守りながら、いつの時代でも、どここの土地でも、人々の暮らしにうれしい記憶を作りたいとの願いをこめて生産されるしょうゆには、様々な種類があり、高砂工場で作られるしょうゆは10種類強です。

食欲をそそる香りとともに醸造を体感できる工場の見学をさせていただき、その近代的で衛生的な製造設備に圧倒されるとともに、ISO9001、14001の認証取得による5Sの

高砂覚えとこ案内

幻の発明品 ヘリコプター

みな 先日山火事があった時、ヘリコプターから消火剤を撒いていたわ。遭難の時は怪我をした人を運んだりもするのね。

マッチ そうなんだ！ヘリコプターはホバーリングといって空中で静止できるんだヨ。

みな ヘリコプターはいつ頃できたの？

マッチ 明治24年（1891）に加古川で生まれた大西唯次さんが、高砂の北本町で時計商を営みながら、独学で研究して特許を取得し、模型まで完成させたのが世界で初めての発明だ。

みな 高砂の人がそんな大発明をしたの？もっと詳しいことを聞かせて欲しいワ！

マッチ 明治36年（1903）にライト兄弟が飛行機の初飛行をしている。大西少年が12歳の時だ。彼は、大空に夢を描いて模型飛行機作りに熱中した。そして試行錯誤の末、模型飛行機を完成させ、全国的協議会に参戦して、飛び抜けた記録で一等賞を何度も取った。大正12年（1923）頃から、滑走路のいらない垂直離

徹底と廃棄物のリサイクルには感心しました。

また、海外での本格的な事業展開から約半世紀余りが過ぎた今、しょうゆは世界100カ国以上で親しまれているとのこと。そして「おいしさは国境を越え、人を繋ぎ、幸せを広げます」とお話しされたことにも深く共感を覚えしました。

日本一のしょうゆ工場が高砂にあり、地域に根付いた企業であることに何となく誇らしい気分させられました。（担当：産業部会 井端）



ーロメモ：開封後の醤油は冷蔵庫で保存すれば長持ちするよ！



着陸機に興味を持ち、時計商のかたわら研究を重ねた。日本や英国から懸賞金付きで制作の募集がされたが、未だ応募したものはなかった。唯次氏は昭和2年（1927）何処の国よりも早く発明完成し特許を出願した。しかし特許局の不手際で許可されなかった。急遽改良し昭和5年（1930）再度出願し、特許第141481号として世界で初めてヘリコプターが誕生したんだ。

みな それが今飛んでいるヘリコプターなの？

マッチ いや、すぐ英国からその特許を買いに来たが、唯次氏は「これは日本で商品化するものだ」と応じなかったんだ。当時の百万円。今のお金で数億円になるだろう。

みな 日本で機体は製品化されたの？

マッチ 戦後再び創意工夫を盛り込んだ機体の特許を申請したが、戦後の混乱期に書類を1年も後回しにされ、アメリカに先を越されたんだ！大西唯次さんの無念さが想像できるネ。

（担当：歴史部会 唐津）

高砂市の

魅力探訪

市道の花はまちづくりの花

春から秋にかけて、市道「荒井・塩市幹線道路」及び「小松原・曾根幹線道路」の街路樹植え樹に「マツバギク」のピンクの花がきれいだったのを覚えておられますか。この緑化活動の呼びかけ人で、特定非営利活動法人「花と緑のまちづくり高砂」の理事長である浅原さんに話を聞きました。

（担当：ウォーターフロント部会 國分）

Q：緑化のきっかけは？

A：市道「荒井・塩市幹線道路」は、高砂市内の南北の道路で一番賑わいがあるメインの道路です。ここにゴミや空き缶・雑草等が繁茂しては見苦しい限りです。

Q：いつ頃から始めたのですか？

A：平成12年10月に高砂市に緑化の申し入れを行いました。12月にテスト植栽を行い冬を越すことができましたので、平成13年4月から順次植栽し、平成15年春に完了しました。一方「小松原・曾根幹線道路」は、行政からの要請により平成15年9月に植栽しました。

その後は、枯損した苗の補植を春と秋の年2回行っております。



花植えボランティア

編集よもやま話

平成19年度からスタートした瓦版も今回で第3号を発行することになりました。発行にあたり、自治会の皆様はじめ多くの方にご協力いただき、お礼申し上げます。

「みなとまちづくり」って何？と思っている方も少なくないと思います。何かを作ったり、イベントなどをするだけではなく、地域の歴史や意外に知られていないものを紹介する情報発信も地域の活性化には大切だと考えています。皆様のご意見、ご要望などをお聞かせください。

（担当：浅原）

高砂知つとこ案内

Q：自治会とのかかわりは？

A：沿線の総延長距離は約4km（往復）、「小松原・曾根幹線道路」は約1kmもあり、我々のグループだけでは手が回りません。それに植栽後の灌水や除草等の活動も必要ですし、何よりも大切なことは、自分の町は自分たちで創り守るという意識を持っていただくこと等から沿線自治会との協働が是非とも必要です。当初から自治会長に開催の案内を持参しておりましたが、「このような活動は市民がするものではなく、行政に要求するものだ」とお叱りを受けました。しかし、行政も右肩下りの予算の状況では「ない袖は振れない」のが現実です。そこで、住みよいまちを作るには、住民主体のまちづくり活動が必要なのは言うに及びません。今では自治会長を始め、ほとんどの市民も理解され、非常に積極的に活動していただいております。

Q：花苗はどうしているの？

A：以前は、兵庫県より資材の提供を受けておりましたが、平成18年から支給中止になりました。活動もここまでかと思っておりましたが、会員の中から自分たちで育苗しようと声が上がって、高砂市からも育苗土等の提供もあってグループで挿し芽した苗を使っております。

編集：みなとまちづくり瓦版づくり隊

発行：高砂みなとまちづくり構想推進協議会

【問い合わせ先】

高砂市まちづくり部

高砂西港周辺再整備・みなとまちづくり担当

〒676-8501 高砂市荒井町千鳥1丁目1番1号

TEL 079-442-2101（代表）

FAX 079-443-9091

開庁時間 8：30～17：15